

1. 役割分担

発表者:金子弘 プリント責任者:金子弘

討議会場:金子の自宅 討議日時:①3月24日 【 】内はグループの意見

2. 教科書のまとめ

はじめに

大学での勉強:正解があるかどうか解らない問題を立てて、その解答を探す。

*教科書を作る現場

プロローグ 大学での勉強はこうなっている

●自分の時間割は自分で組み立てる

- 1 時間割:自分で時間割を作る
- 2 クラス:固定されたクラスは無い
- 3 教材:授業によって教材が変わる【大学の授業は教科書を作る立場←→教科書を覚える】

●授業に出て学ぶ

- 1 出欠席:出欠席は自分で管理する
- 2 先生:専門や教え方がいろいろ
- 3 教室:いろいろな規模・種類の教室
- 4 授業:

●大学での授業

- タイプ 講義:先生の話しを聞く 【知識を得る】
実習・実験: 【体験する・知識や技術の習得】
演習・ゼミナール:発表 【技術を身につける・知識の展開】

●学年末試験を受ける 【内容からすると「卒業の考え方」などの題名の方が解りやすい→卒業の話は次の項目に移動して、純粹に「学年(セメスター)末試験」の話をしたほうがいい。最終的には、この節自体が不要か別の題名の方がいい】

単位を取って卒業 【卒業の話は次の項目へ】

●卒業 【上の項目と連動しているので、一括するのがいい】

【捉え方】

大学の勉強は、あらかじめ定まった知識を覚えるのが目的ではなく、問題を見つけその問題を解くにはどうしたらいいかを考えるところまで要求される。大学の授業が、全体として高校までのようにきっちりとした型がないのは、定まった知識を教えるスタイルではないからである。したがって、授業を受ける態度も学生の側からの積極的な問題設定が要求される。自主性の尊重と自己開発の自己責任が問われると言えるだろう。